

令和 6 年度 第 6 回
栃木東部地域会議 会議録

令和 6 年 9 月 2 6 日 (木)
栃木市国府公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第6回栃木東部地域会議
開催日時	令和6年7月26日（木）19時 開会 20時30分 閉会
開催場所	国府公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<u>1 開会</u>
	<u>2 会長あいさつ</u>
	<u>3 議事</u>
	栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、出井会長による議事進行。 <本日の出席委員数の報告> 本日の出席委員12名（委員総数15名） 過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立
都市計画課	（1）都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について【報告】 ・「都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について」に基づき説明。 <質問等>
A 委員	・前回の説明の際、意見として、全体的にこれからの都市計画の大きな課題は、人口減少と高齢化である。これまでの都市計画を見ていると、ほとんどがハード面関係で、一番大切なソフト面はどうかと述べさせていただいた。その点については、都市計画マスタープランに反映されているという印象であった。ひとつ気になるのは、策定委員会に都市整備部長を委員長としている。私が意見として出したのは、保健福祉部長を副委員長などの役職に入れた方が、よりいいものができるのではないかと考えていたがその点の議論はあったの
市街地整備課	

都市計画課	か？
A 委員	・元々保健福祉部の関係課長や地域振興部の関係課長が委員会に入っているのでその辺は網羅していると考えている。 ・関係課長が委員会に入っているのは知っている。ただ、保健福祉部長も参加すればまた違うのではないかと。これからの課題はソフト事業であって、人口減少と高齢化社会にどう対応していくかだと思う。ソフト面といかに充実していくかにかかっていると思っているので、そういった観点から保健福祉部長も参加した方がいいのではないかと述べさせていただいた。
産業基盤整備課	（２）栃木市産業基盤成長戦略（素案）【情報提供】 ・「栃木市産業基盤成長戦略（素案）概要版」に基づき説明。 ＜質問等＞
A 委員	・分かる範囲でいいので、佐野市には佐野工業団地があり、小山には立派な小山工業団地がある。比べて栃木市は小さい産業団地はあるが、なぜ栃木市はこんなに遅れているのか？ 壬生にはファナックが出来た。世界有数の企業をなんで栃木市に誘致できなかったか分かるか？ あとはコストコも壬生に出来た。佐野にはアウトレットがある。栃木市はこういった成長戦略を策定するのはいい事だが、遅れているので真剣にやらないといけないと思う。ファナックみたいな大企業を壬生に誘致出来て、何故栃木市には誘致できないと考えていますか？
産業基盤整備課	・そのタイミングで場所等、産業団地を整備できる条件が整っていなかったのかなと考えるが、おっしゃるとおりファナックなどの世界的に有名な企業や、それだけではなく市内の企業が増設したい等の要望に応える事が出来なかった経緯もあって、今回このような成長戦略として策定していこうと考えています。
A 委員	・つまり栃木市は遅れているという事です。産業団地をたくさん作っているイメージはあるが、実は取組自体は遅れていてこれからもそういった状態が続くのではないかと感じている。小さい企業は栃木市に来ていますよ。でも大きい企業が来るようにアプローチしていけば栃木市も良くなると思うがいかがでしょうか。
産業基盤整備課	・今お話しいただいたような、大きい企業等の誘致が前向きに進んでいけるように、今年は産業団地の造成事業に携わっていますが、誘致できるような仕掛けづくりをやりながら、企業が誘致できる仕組みを考えながら進めていければと思っている。
B 委員	・成長戦略の目標及び評価について、経済波及効果の中で生産誘発額と就業誘発者数というのがあるが、まずこの目標がどのような根拠で決められているのか知りたいのが１点、そして、先ほど話がでたファナックという企業、ロボットアームなどを作っている会社で、生産誘発額という点では貢献していると思うが、就業誘発者数というところでは、工場内がオートメーション化されていて、あまり効果が薄かったと聞いている。そこでこの生産誘発額と就業誘発者数の２点を見たときに、栃木市の考えではどちらの点にウェイト

産業基盤整備課	を置いて計画を立てているのか伺いたいです。両方達成できたらいいことですが、どちらかが欠けるとするならば、どちらかという、就業誘発者数にウェイトを置いてもらいたいという要望もあるのでその様に考えているか教えて頂きたい。 まず1点目の算出根拠につきましては、栃木県の産業生産課のホームページに載っておりまして、全国的に使われている一般的な計算式を使用している。数字を入力していくとマクロで自動計算される仕組みになっている、その数値の基というのが千塚産業団地での実績値を使用している。2点目の生産誘発額と就業誘発者数どちらにウェイトを置くかという事につきましては、非常に難しいですが、現状人口減少化においても、製造品種価格が維持されていて県内第2位となっており、その要因がファナックの様なオートメーション化された企業によるものだと考えている。就業誘発者数の増加というものも必要であるかと思うが、現在、どこの企業も労働者を欲しがっているという中で、労働者の取り合いが起こっている状況であると考えている。そうすると労働者が企業を選ぶ条件に、給与水準がひとつあげられる。ですので、そういったものに影響されないで製造品種価格を維持するためには、ロボットとかそういった未来技術を持ち合わせた企業誘致して生産誘発額を維持できるようにした方が重要であると考えて、成長戦略を作成している状況です。
B 委員	要望としては、就業誘発者数に重点を置いていただければと思っていますのでよろしくお願いします。
A 委員	図面をみると野州平川駅周辺も開発するとなっているが、ここを開発メリットは？
産業基盤整備課	野州平川駅周辺の青く塗られている箇所につきましては、工業系の用途地域となっていて、今回の成長戦略策定に伴って塗りつぶした場所ではない。今回新たに設定したのは、青い点線の箇所である。
交通防犯課	(3) 令和7年度ふれあいバス大宮国府線路線の見直し【情報提供】
C 委員	「令和7年度ふれあいバス大宮国府線路線の見直しについて」に基づき説明。
交通防犯課	＜質問等＞
D 委員	見直し時期は来年の3月ですか？
交通防犯課	令和7年4月1日から路線を変更する予定。
D 委員	ふれあいバスにどのくらいの予算をかけているのか？お客が載っていない状況が多く見られるので、採算的に市がどのくらい負担しているのか知りたい。
交通防犯課	ふれあいバスについては、全部で12路線運行してまして、令和5年度の運行経費が、約3億4,800万円で運賃収入が約2,700万円、運行経費から運賃収入を差し引いた額を市が補助金で補填している形で約3億2,100万円となる。
D 委員	市で差額、約3億2,100万円を補填している。これだけお金を掛けてやる必要があるのか？私は無いと思う。電話をすればタクシーも来るし、皆さ

交通防犯課	んでしょうか。必要ありますか？ 市としましては、利用者が年間で令和5年度は、約22万人の方に利用していただいて、1日平均で約600人が利用されていて、その中でどうしても高校生等通学が出来なくなってしまうという事もありますので、まずは高校生の学校までの足の確保、あとは、免許を持っていない高齢者の買い物や通院などにも寄与されていると考えていますので、大きい額ではありますが、今後も利用者の目線で見直しをしていきたいと考えている。
E 委員	素朴な疑問ですが、この地域会議でこの話を報告されて、一番心配しているのは、今大赤字で市が補填しているわけで、それで1日の利用者数が約600人。それでこの会議で報告されて、私たちに責任が来ることを心配している。大赤字を報告されて分かったとなってしまうとここに責任がでちゃうのかなと思ってしまう。
交通防犯課	今回は、額という報告では無く、ルートの変更についてご説明にお伺いしたという事になりまして、その中で質問がでたので、金額等回答させていただきました。今日の説明の趣旨は、ヨークベニマル平柳店から道路を開通する事によって、ルートを変更せざるを得ないという事を説明して地域の方にご承知おきいただければというところでした。
議長	わかりました。そうですね。路線の変更ということでの説明ですから、予算関係はまた別のところで話し合って貰えればと思います。
A 委員	交通弱者を支えていくという事を一生懸命やっていると思うが、高齢者は事故が多いから免許返納などをする。そうすると足が無くなるので、公共交通機関に頼らざるを得ない。なので、私は市民サービスとしてお金がかかってもいいと思っているが、いかに効果的な税金の使い方をしているか、見ていて空気を運んでいるバスもあるので、効果的なバスの運用の仕方というものを考えないといけない。貴重な税金なので課題はあると思うが、日本全国でやっていて、効果的に運用している市町村もあると思うので、勉強していただければいいのかなと思った。
交通防犯課	貴重なご意見ありがとうございます。
F 委員	素朴な疑問として、なぜ信号が付かないのか？信号機が付かないという理由だけでなぜ路線を変更する必要があるのか？
交通防犯課	信号機についてですが、県の公安委員会で検討する事です。変更理由については、道路幅員が広く通過交通も多くなるため、仮に信号機が設置されれば、路線を変更する必要はなかったのですが、信号機が無い場合、通過交通が多いとそこを渡るのに時間の予想ができない。バスの運行には定時運行が重要となってきて、例えば駅に着いたが遅延して電車に乗れなかった場合、学生が学校に間に合わないということになりますので、確実に時間の見込めるルートに変更して、定時運行を行いたいというところが一番の趣旨でございます。
D 委員	今信号機の話がありましたが、信号機を減らそうとしている。栃木県内で1,000件。どこかありますか？交通安全協会の方に通知が来ましたが、今は新しく道が出来ても信号機は付きにくい。そういった話は知っていたのか？

交通防犯課	・市の方で信号機は設置する、しないの判断はできないが、市としては、その周辺で相当の通行量があると把握していたので、通行量からすると信号は付くのではないかと考えていたのですが、信号機が付かないという事を栃木県から聞いたので今回ルート変更をした。小金井街道の十字路については、信号機が付くという話は伺っている。
議長	・他にございますか？今回は路線の変更ということでの説明ですので、時間も経過したのでこれで終わりにしたいと思います。
議長	(4) 地域予算提案事業について ・資料1、資料2に基づき説明 ・事務局から説明がありましたが、時間も経過しているので今日はここで終了したいと思います。ですから、次回の11月に委員から案を出してもらえれば詰められると思います。昨日の提出式後の意見交換会で東部地域が地域活性化交流イベントをやるのに委員は関わるのですか？という話がありました。そういった質問もでて、他の地域からの関心度が高いという状態です。ですので、次回の11月開催の時に皆さんの意見を出して頂ければと思いますので、よろしくお願いします。 <u>4 その他</u> ・交通防犯課情報提供 「令和5年度ふれあいバス・蔵タクの運行状況」について ・次回の開催予定 - 令和6年度第7回会議 - 令和6年11月28日（木）午後7時（大宮公民館） <u>5 閉会</u> ——閉会—— （会議終了時刻 午後8時30分）

別紙1 出席者及び事務局

＜出席者（委員）＞

会 長	出井 康夫	委 員	飯島 初枝
委 員	大木 泰正	委 員	大橋 哲夫
委 員	大武 真一	委 員	大和田真衣
委 員	篠原 幸江	委 員	長 全高
委 員	名倉 万里	委 員	藤本 和夫
委 員	森 寛	委 員	和久井賢司

＜欠席者（委員）＞

副会長	柏崎 桂二	委 員	島田 研
委 員	梁島あけみ		

＜事務局＞

牧野 知之	(栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長)
北平 雅章	(大宮公民館 館長)
大塚 将己	(国府公民館 主任)

＜その他出席者＞

芳野 英明	(都市計画課 課長)
吉田 容子	(都市計画課 主任)
藤本 拓也	(産業基盤整備課 主任)
藤野 法之	(交通防犯課 課長補佐)
山田 安弘	(交通防犯課 主査)
江田 侑輝	(交通防犯課 主事)

別紙２ 会議事項及び配付資料一覧

〈会議事項〉

１ 開 会

２ 会長あいさつ

３ 議 事

- （１）都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について【報告】
- （２）栃木市産業基盤成長戦略（素案）【情報提供】
- （３）令和７年度ふれあいバス大宮国府線路線の見直し【情報提供】
- （４）地域予算提案事業
 - ・地域予算事業計画書の提出について報告
 - ・地域活性化交流イベントの内容について協議

４ その他

- ・交通防犯課情報提供
- 「令和５年度ふれあいバス・蔵タクの運行状況」について
- ・次回の開催予定について

５ 閉 会

〈配付資料一覧〉

- ・都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について
- ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）概要版
- ・令和７年度ふれあいバス大宮国府線路線の見直しについて
- ・地域予算事業計画書の提出について報告
- ・地域活性化交流イベントの内容について協議
- ・「令和５年度ふれあいバス・蔵タクの運行状況」について

資料１

資料２